

平成 28 年度実施 大網白里市住民協働事業 成果報告書

事業名	我がまち魅力発見ツアー（ガイド）	
事業主体	実施団体	市（関係課）
	大網白里自然観察ガイドの会	

事業費	予算額	決算見込額	市補助金額（交付決定額）
	368,216 円	351,175 円	338,000 円

【 ①課題 ②目的・効果について 】

次の事項がわかるように、事業概要と成果を記入してください。

○どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、

○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施し、

○どのような効果が得られたか。 ○住民の満足度は得られたか。

①課題

丘陵地や田園地帯・海浜地域と優れた自然を持つ大網白里市だが、主要な観光スポット以外はあまり知られていない。

②目的・効果

歴史・文化・自然と市の隠れた地域資源に目を向け、ウォーキングを通して新しい魅力を発見・発掘し、市民の郷土に対する愛着心を育むとともに、交流の活性化、地域のにぎわいの創出を図り、健康づくりにもつなげることができた。

市民の満足度を調査するため、ツアー後にはアンケート調査を実施（別紙参照）。参加者の満足度はおおむね高かった。

●魅力発見ツアー・子ども観察会の開催

季節を考慮し、市内の魅力を十分に発見できるコース・観察地点を設定し、市民の交流の場、健康づくりを考えたウォーキングツアー・観察会を開催した。

魅力発見我がまちの魅力ある部分を海岸部・田園部・丘陵部に分けて案内し、歴史・文化・自然とそれぞれに特色ある魅力を発信した。

また、小中川の自然環境を調査し、水資源の大切さを子どもたちと一緒に学習した。

【実施内容】

- ・第1回魅力発見ツアー（5月28日）・・・白里地区で開催
- ・第1回子ども観察会（6月5日）・・・小中川にて子どもたちによる水質調査（身近な水環境の全国一斉調査）を実施。
- ・第2回子ども観察会（8月6日）・・・小中川上流にて子どもたちによる「水環境の全

国調査生き物調査」を実施。

- ・第2回魅力発見ツアー（10月22日）・・・萱野地区で開催。
- ・第3回魅力発見ツアー（11月26日）・・・増穂地区で開催。

●我がまち魅力発見ガイドブックの作成

ウォーキングをしながら市の魅力を再発見できるよう、ウォーキングマップとガイドをあわせた冊子を1,000部作成した。

【 ③企画力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
<p>●我がまち魅力発見ツアー 各コースの下見、マップの作成。歴史・文化・自然を調査し、ガイドを実施。</p> <p>●子ども観察会 小学生による水質（COD）、川の環境・生き物を調査を指導。</p> <p>●我がまち魅力発見ガイドマップの作成 市内の10コースを設定し、コースごとに担当を決めて下見と調査を実施。 地図・写真・ガイド（解説）を提供しガイドブックを作成した。</p>	<p>① 広報協力 ・広報紙・ホームページへの掲載を行った。 ・ポスターの掲示を行った。</p> <p>① 施設の減免・利用申請 ・市施設利用の際の減免申請や利用申請を行った。</p> <p>③ ガイドマップ編集支援 ・ガイドマップの編集を支援した。</p>

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団体	市（関係課）
<p><input checked="" type="checkbox"/> 適正であった (理由) ツアーや観察会は会で開催できたが、周知（ポスター、広報紙・ホームページ・チラシ）や駐車場の確保で市の協力があったことで、効果をえられた。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) ・ホームページ等で団体の活動の報告を行うことで、イベントに参加していない人にも市の魅力を発信することができた。 ・団体が長年蓄積してきた活動を、ガイドマップにまとめることができた。</p>

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
5月 第1回我がまち魅力発見ツアー	5/28 第1回我がまち魅力発見ツアー 59名参加
7月 自然観察講習会開催	6/5 子ども観察会 11名参加 8/6 子ども観察会 16名参加
10月 第2回我がまち魅力発見ツアー	10/22 第2回我がまち魅力発見ツアー 51名参加
12月 第3回我がまち魅力発見ツアー	11/26 第3回我がまち魅力発見ツアー 54名参加
1月 ウォーキングマップの印刷製本	2月 ウォーキングマップの印刷製本

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input checked="" type="checkbox"/> 適正であった (理由) 活動計画を実行するにあたって、年度初めに会議を開き、予定表を作成した。 毎月2～3回の下見・調査・コースガイドマップの作成等、打合せの会議をし、コースの担当・役割分担を決め活動した。

【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

平成29年3月で毎月1回開催していたウォーキングが186回（16年）となった。コース、地図、ガイドと10人のガイドの会で進めてきたが、1回ごとに中心となるガイド役がないまま進行してきた。
 今回の事業を計画したことにより、各自コースを受け持ち、ガイド役をしっかりと行うことができた。また、ガイドマップ作成にあたって、1人1コースを受け持ち、魅力あるコースの決定と資料の作成ができたと思う。

また、その結果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input checked="" type="checkbox"/> 強化、活性化した (理由) ガイドをする知識の向上と各ガイド役の積極性と責任感が強くなった。

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

団体
<p>小さな団体のイベントは、長い時間をかけなければ市民に周知することができない。今回協働事業として実施できたことは、多くの市民に知ってもらいきっかけとなり、非常に良かった。ガイドマップを作成したことにより、より多くの市民の方に我がまちの魅力を発見・発信し、今後の活動につなげていけると思う。会議室の確保、イベントの周知（広報・ポスター・チラシ・ホームページ）、集合場所の駐車場と毎回難問をかかえながらの活動でしたが、協働事業として実施したことで、より容易に終えることができた。</p> <p>また、ガイドマップの作成は、100コースを超える中から、市の魅力を伝えるコースを選び編集することができた。編集にあたり、私たちのできないまとめを市の尽力でやり遂げることができた。</p>
市
<p>すでに団体として長年の活動の実績があるため、イベントの運営はスムーズであった。その活動をホームページに写真つきで紹介することにより、イベントに参加していない人にも市の魅力を発信することができ、今後の参加につなげることができたと考える。</p> <p>また、団体として蓄積されたものをガイドマップにまとめ、配布することにより、多くの市民が手に取って足を運んでくれることを期待する。</p>

また、その協働による効果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<input checked="" type="checkbox"/> 効果があった (理由) 参加した人にだけコースの案内、歴史、文化、自然をガイドして来たが、今回ガイドマップを作成できたことで、より多くの人たちに市の魅力を発信することができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) ・広報による、活動の拡大 ・活動の成果をガイドマップに残すことができた。